

西阿知周辺まち歩きマップ

中世の西阿知は分流した東西高梁川、海または湿地帯に四方を囲まれ、商業都市・港湾都市として繁栄していました。古寺や郷土の偉人のゆかりの地をめぐる中世以後の歴史の道です。距離約3km、徒歩で約40分。

1 くらしきおのおのしょうわさいきねんしりょうかん 倉敷市大野昭和齋記念資料館

木工芸の人間国宝 大野昭和齋が晩年の10年余りを過ごした旧宅に作品や愛用の品々を展示しています。

開館時間 午前9時から午後4時半

休館日 毎週水曜日、祝日、年末年始

入館料 無料

駐車場 普通車2台

大野 昭和齋 (1912 - 1996)

木工芸作家。総社市出身。

もくめちんきん

空目沈金という木目に金箔

を沈ませる独自の技で木の

温かさに精巧さと華やかさ

を持つ作風をつくり上げました。



倉敷市大野昭和齋
記念資料館

2 にしあちれきしみんぞくしりょうしつ 西阿知歴史民俗資料室

西阿知公民館内に、西阿知のい草産業の歴史や、基礎を作った人々をパネルで展示しています。

開館時間 午前9時から午後5時15分

休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

入館料 無料



西阿知歴史
民俗資料室

農協

医王寺

中島神社

極楽寺

熊野神社

遍照院

6,7

至倉敷駅

至新倉敷駅

4 じっさいじ 實際寺

元西阿知遍照院末寺、本尊は阿弥陀如来。慶長9年11月(西暦1604年)遍照院に身を寄せながら、現在實際寺のある中島地区の干拓などを手掛けた建部政喜が、1616年、松山藩の検地を受けて中島の地が誕生した年に先祖の聖霊菩提のために建立しました。

三島中洲
生家跡

3

實際寺

中島
自治会館

4,5

化粧品店

100m



7 へんじょういんさんじゅうのとう 遍照院三重塔 (国重要文化財)

三重塔は、従来、永享年間(1429~41)の再建と伝えられていましたが、昭和41~42年にかけて行われた解体修理の際に、応永23年(1416)の再建墨書が発見され、室町時代前期の再建であったことが判明しました。木鼻の絵様、板形式臺股の意匠などに、室町時代前期の建築様式の特徴がよくうかがわれ、均衡のとれたその形態は塔としての品位を示し、端正で美しく、国内有数の三重塔と言えます。

6 くまのじんじゃ 熊野神社

祭神は、天照大神をはじめ、いざなみいざなぎの両神など十二神を祀っています。由緒は詳やかではありませんが、後三条天皇の勅願社で、馬場先にあった楠木の鳥居に「十二社権現」と書かれた勅額があったのですが、天正年間に焼失し、由緒も勅額もなくなってしまいました。境内には恵比須神社、荒神社などあります。

5 みしまちゅうしゅうせいしのひ 三島中洲生齒の碑

實際寺の三島家墓地に母と兄といつまでも一緒にいたいとの思いから、明治36年に母と兄の墓石のそばに自分の代わりとして歯を埋めて「生齒の碑」を建立しました。

三島 中洲 (1830-1919)

江戸末期から大正時代の漢学者。

倉敷市中島出身。大審院判事(現

在の最高裁判所判事)を務めたのち、現在の二松学舎大学を創設し、漢学・東洋学の発展に尽力しました。その後、東京帝国大学教授、東宮御用掛(当時の大正天皇の家庭教師)を歴任しました。



作成・発行・お問い合わせ先
倉敷市文化振興課 (086-426-3075)